

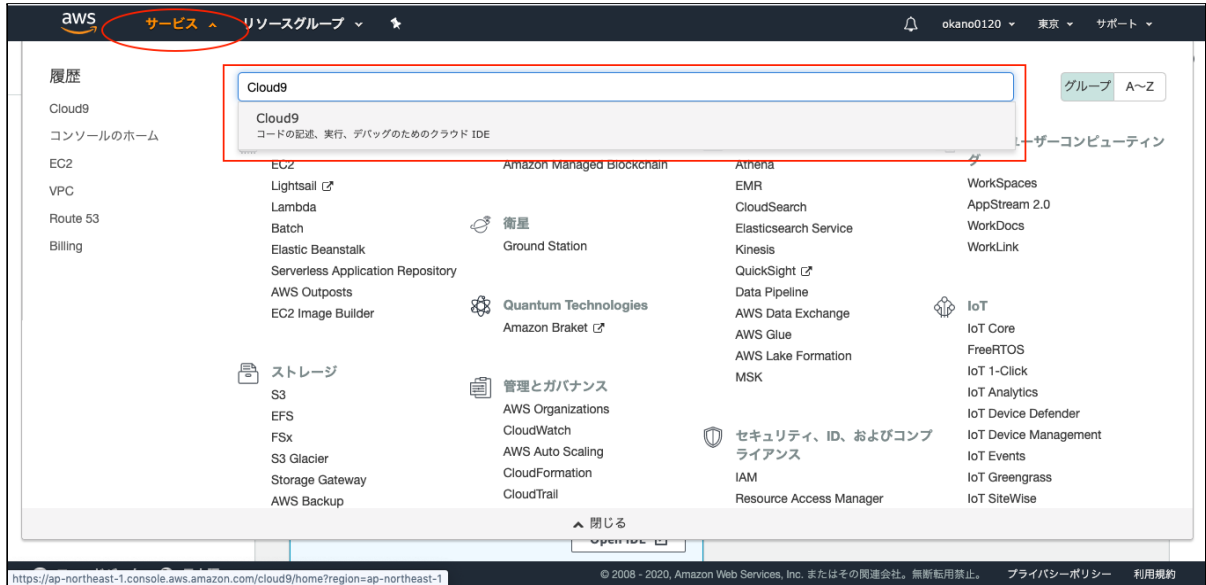
【テックジム】Railsコース 環境構築 Cloud9/git編

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

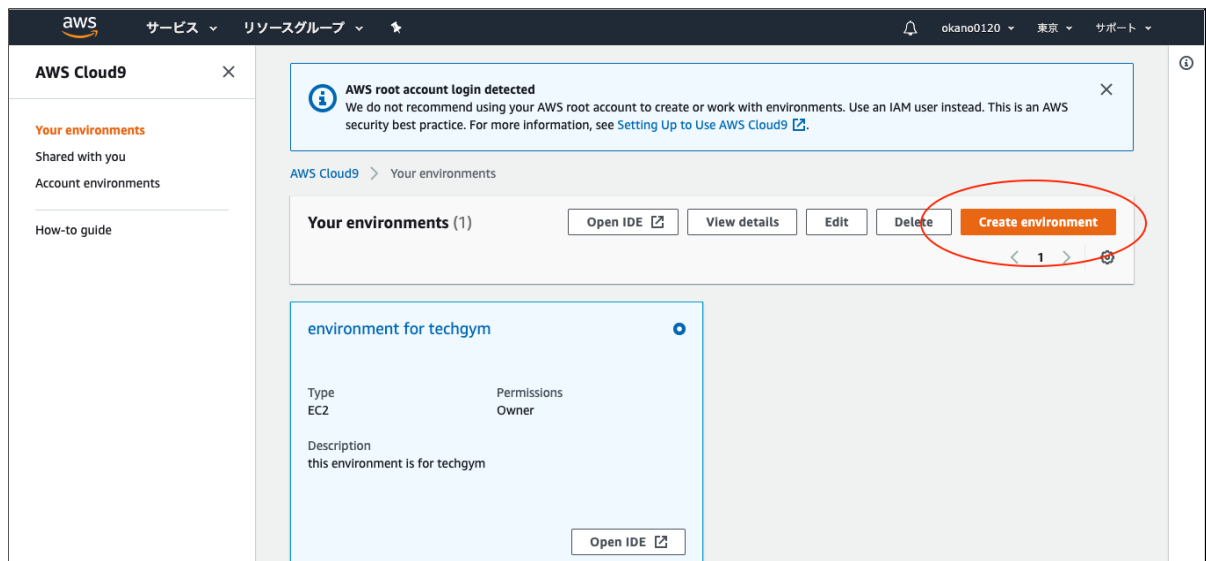
■ Cloud9の立ち上げ方

【手順】

・AWS(<https://aws.amazon.com/jp/>)にログインして、フッターの「サービス」をクリックし、検索フォームにCloud9と入力してます。すると、「Cloud9」の項目が出てくるので、クリックしてください。



・Cloud9のダッシュボードに移動するので、「Create environment」をクリック



【テックジム】Railsコース 環境構築 Cloud9/git編

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

・Step 1「Name environment」では、好きな名前を入力し、任意で説明を入力してます。

AWS Cloud9 > Environments > Create environment

Step 1
Name environment

Step 2
Configure settings

Step 3
Review

Name environment

Environment name and description

Name
The name needs to be unique per user. You can update it at any time in your environment settings.

techgym_rails

Limit: 60 characters

Description - Optional
This will appear on your environment's card in your dashboard. You can update it at any time in your environment settings.

environment for techgym_rails

Limit: 200 characters

・Step 2「Configure settings」では、下記の内容を選択し、「Next step」をクリックして下さい。

Environment type: Create a new instance for environment(EC2)

Instance type: t2.micro(1 GiB RAM + 1 vCPU)

Platform: Amazon Linux

Cost-saving setting: After 30 minutes (default)

Configure settings

Environment settings

Environment type [Info](#)
Choose between creating a new EC2 instance for your new environment or connecting directly to your server over SSH.

☒ **Create a new instance for environment (EC2)**
Launch a new instance in this region to run your new environment.

☐ **Connect and run in remote server (SSH)**
Display instructions to connect remotely over SSH and run your new environment.

Instance type

☒ **t2.micro (1 GiB RAM + 1 vCPU)**
Free-tier eligible. Ideal for educational users and exploration.

☐ **t3.small (2 GiB RAM + 2 vCPU)**
Recommended for small-sized web projects.

☐ **m5.large (8 GiB RAM + 2 vCPU)**
Recommended for production and general-purpose development.

☐ **Other instance type**
Select an instance type.

t3.nano

【テックジム】Railsコース 環境構築 Cloud9/git編

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

Platform

☒ Amazon Linux

☐ Ubuntu Server 18.04 LTS

Cost-saving setting

Choose a predetermined amount of time to auto-hibernate your environment and prevent unnecessary charges. We recommend a hibernation settings of half an hour of no activity to maximize savings.

After 30 minutes (default) ▼

IAM role

AWS Cloud9 creates a service-linked role for you. This allows AWS Cloud9 to call other AWS services on your behalf. You can delete the role from the AWS IAM console once you no longer have any AWS Cloud9 environments. [Learn more](#)

AWSServiceRoleForAWSCloud9

▶ **Network settings (advanced)**

No tags associated with the resource.

Add new tag

You can add 50 more tags.

Cancel Previous step **Next step**

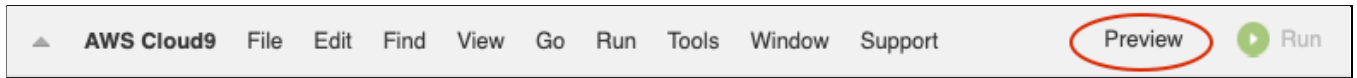
・Step 3「Review」では、内容を確認し「Create environment」をクリックして下さい。

【テックジム】Railsコース 環境構築 Cloud9/git編

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

■ Cloud9でブラウザを立ち上げる

・ページ上部の「Preview」をクリックし、「Preview Running Application」をクリック。



・Cloud9の画面上で、仮想的なブラウザが表示されますので、ブラウザ上部のBrowserの右隣にあるボタンをクリックしてください。すると、新規ブラウザが表示され、bundle exec rails serverで立ち上げたページを表示することができます。



■ Oops VFS connection does not exist と表示された場合

ブラウザが問題を起こしている可能性が高いので、ブラウザを変えていただく(講師はChromeを使用しています)か、シークレットモードで再度AWS・Cloud9にログインしていただけますと、エラーがなくなると思います。

【テックジム】Railsコース 環境構築 Cloud9/git編

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

■ gitについて

【前提知識】

- ・修正: gitではファイルを修正すると、自動で修正部分・新規追加ファイルを認識します。
- ・コミット: いくつかの修正をひとまとまりにしたものです。
- ・ブランチ: コミットを順番にまとめたものです。
- ・リポジトリ: 複数のブランチ・修正したユーザーの情報など様々な情報を格納している場所です。
Railsコースでは1章ごとにリポジトリを作成しており、Railsコース1章のリポジトリは下記URLで管理されます。
https://github.com/techgymjp/techgym_rails_course01

【コマンド】

ブランチの一覧を表示する。

```
$ git branch
```

特定のブランチ(lesson1)に切り替える

```
$ git checkout lesson1
```

修正・新規ファイルの一覧を表示する。

```
$ git status
```

特定のファイル(app/controllers/contacts_controller.rb)をコミットできる状態にする。

```
$ git add app/controllers/contacts_controller.rb
```

カレントディレクトリ内の全てのファイルをコミットできる状態にする。

```
$ git add .
```

コミットできる状態にした修正・新規ファイルを名前(フォーム送信機能 追加)をつけてコミットする

```
$ git commit -m "フォーム送信機能 追加"
```

コミットを順番に表示する。

```
$ git log
```

特定のファイル(app/controllers/contacts_controller.rb)を修正する前の状態に戻す

```
$ git checkout app/controllers/contacts_controller.rb
```

【テックジム】Railsコース 環境構築 Cloud9/git編

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

■ 各問題の回答の見方について

Railsコースでは、GitHub(<https://github.com/>)の仕組みを利用して、各問題の解答を始めやすくしています。

Railsコース1章の場合、各問題とブランチの関係は下記の通りとなります。

	解答開始時のプログラム	回答のプログラム
問題 1 - 1	lesson1ブランチ	lesson2ブランチ
問題 1 - 2	lesson2ブランチ	lesson3ブランチ
問題 1 - 3	lesson3ブランチ	lesson4ブランチ
問題 1 - 4	lesson4ブランチ	lesson5ブランチ
...

そのため、問題 1 - 1の回答は、lesson1ブランチとlesson2ブランチの差分を表示することで確認することができます。差分の表示方法については、下記の2つの方法の内どちらかをご参照ください。

【URLで直接アクセスする方法】

下記URLにアクセス

https://github.com/techgymjp/techgym_rails_course01/compare/lesson1...lesson2

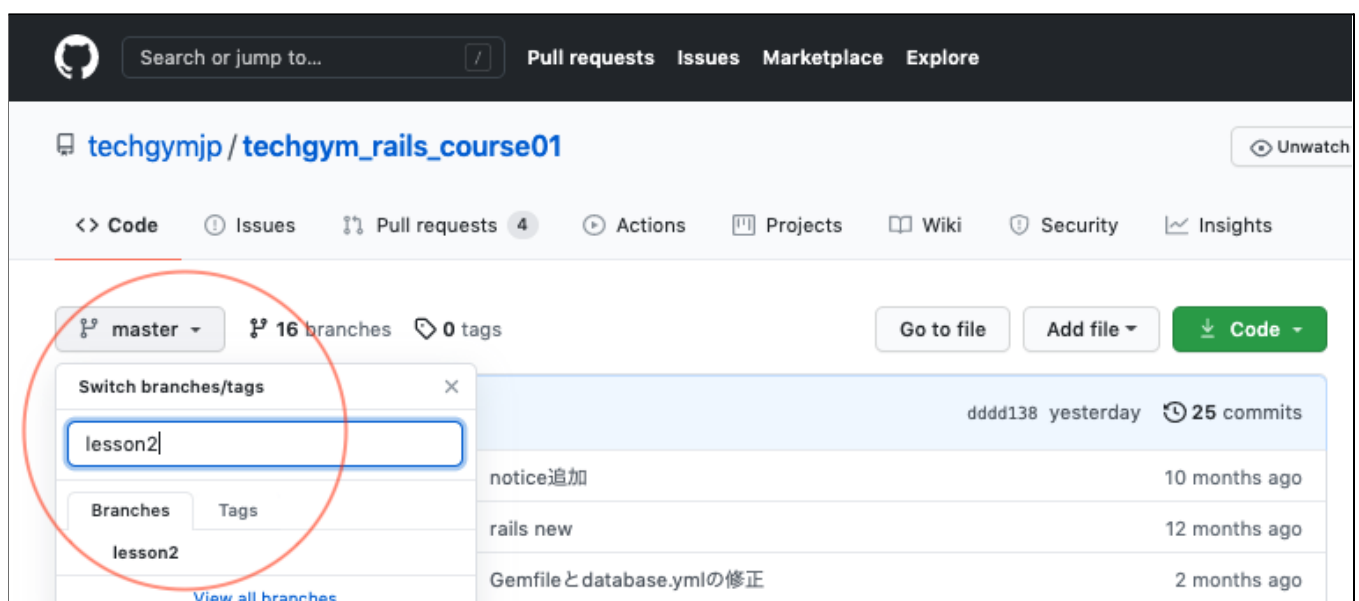
自分が見たい回答に応じて、URLに記載されているlesson1, lesson2の部分を変更してください。

【ブラウザから確認する方法】

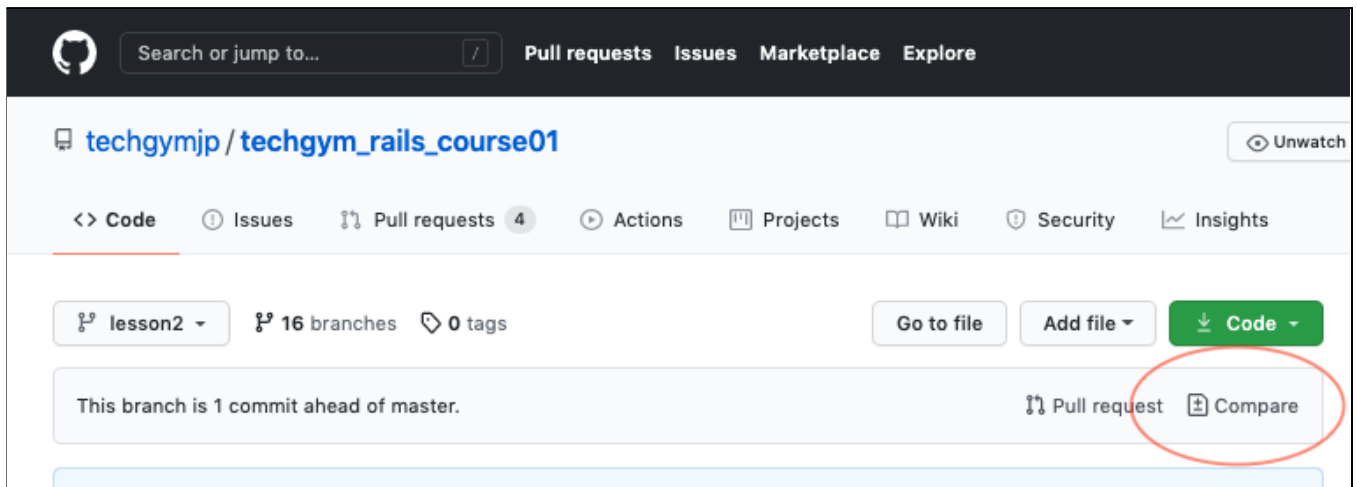
・該当のリポジトリにアクセス

Railsコース 1章の場合: https://github.com/techgymjp/techgym_rails_course01

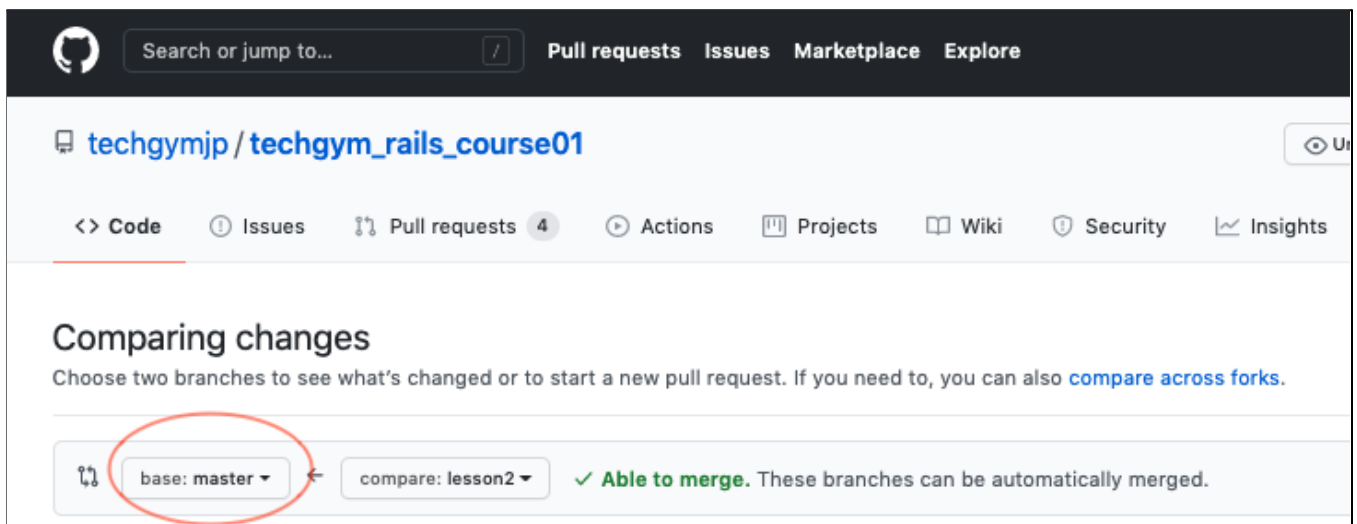
・「master」と書かれたボタンをクリックし、回答のブランチを選択



・「Compare」と書かれたボタンをクリック

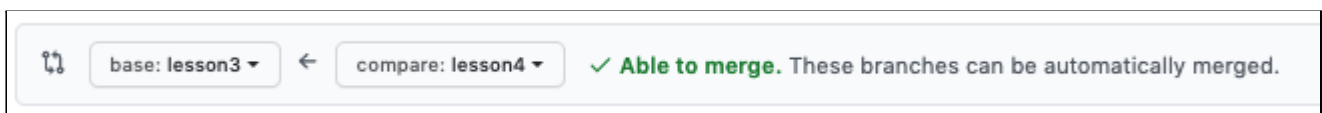


・「master」と書かれたボタンをクリックし、表示されるメニューに存在する解答中のブランチをクリックする。



・ページ内に、lesson1とlesson2のソースコードの差分が表示されるので確認する。

ここで、lesson1とlesson2のボタンを変更することで、他のブランチの差分も確認することができます。



【テックジム】Railsコース 環境構築 Cloud9/git編

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分